

職員の人件費をどう減らすか

吹田市行政の人件費は、歳出予算全体の二割、約二七億円を占めています。人件費は一般財源の比重が高く、この人件費を一〇％削減できれば、吹田市の場合、約二〇億円の歳出削減となります。

人件費を削減する方法は大きく分けて二種類です。一人当たりの人件費を削減するか、職員人数を削減するか、です。

吹田市職員の年収（吹田市WEBページから）六八五万円は、民間企業平均年収四〇八万円の一・五倍以上です。行政と同じく公共サービスを担う、たとえば関西電力五八七万円よりも一割強も高くなっています。

（給料・COM参照）

一方、現市長による行政の維新プロジェクトによる給与等の削減が続く、職員の働く意欲がそがれているのも事実です。

そこで、一人一人の職員さんには、給与分の仕事を精一杯していただき、人数を計画的に削減することで人件費総額を削減することを提案します。市民サービスはその質、量が重要であり、その担い手がすべて公務員（自治体の直営）でなければならぬということではありません。

民間委託すれば住民サービスの質、量が低下するから民間委託はダメだ、というのは問題のすり替えです。

民間委託は委託したら終わり、丸投げとイコールではありません。

住民サービスの質、量が低下してないか、委託内容についてチェックし、行政の公的責任を果たすことは当然のことです。

行政が直接担う市民サービスを厳選し、民間（NPOなども含む）に委託できるものは委託することを提案します。そして、行政は、住民福祉向上の観点から民間委託状況を管理監督することにシフトすることで、人件費総額を削減します。



いけぶちの提案
市職員数、5年で
10%削減
目標

民間でできることは民間へ。市の負担を減らし、市職員の人件費を総額で削減します！

いけぶち佐知子のプロフィール



- 1957年／和歌山県生まれ。
- 1979年／大阪大学薬学部卒業。薬剤師免許取得。
- 1994年／吹田市立女性センターに就職。地域の開発問題をきっかけに政治に関心を持つ。
- 1999年／市民のための市政を求めて立候補し、当選。現在4期目。

子育て・教育、福祉、環境、まちづくりの市民活動にかかわる。百条委員会委員(2012~13年度)。吹田市監査委員(2013年度)。議会事務局研究会会員。「女性を議会に 無党派・市民派ネットワーク」運営スタッフ。

公式 HP、ブログ、ツイッター、フェイスブックで情報を発信しています。

いけぶち佐知子

検索

メルマガ通信ご希望の方は、いけぶち佐知子までメールでお知らせください。

ikebuchi@office.email.ne.jp

「市民派」って、どういう人？



私は市民派議員として、市民のために働きます いけぶち佐知子

- 市民の目線、市民の常識で考え行動します。政治の常識は市民の非常識。市議会に政治屋はいらない。市民の常識でアカンもんはアカンをつらぬきます。
- 市議会で決まったこと、話し合ったことをしっかり届けます。市政なのに、市民ナイガン口が多すぎます。市議会で話し合ったことなど、キチンと分かりやすくお伝えします。それが議員としての義務です。何やってるか分からん議員はアカン。
- 議員報酬や政務活動費など、お金の流れを明らかにします。お金の不祥事があまりにも多すぎます。インターネットでの領収書の公開など、市民の常識に沿って活動、提案します。お金を何に使ってるのか分からないのはアカン。